



命の教育シンポジウム2019

テーマ SOSの出し方・気づき方

主催 北海道教育大学教職大学院

共催 国立精神・神経医療研究センター 自殺総合対策推進センター(JSSC) 後援 北海道教育委員会 札幌市教育委員会

日時

2019(平成31)年
3月6日(水)

13時00分～17時30分(開場12時半)

会場

**札幌市男女共同参画センター
(エルプラザ)3階大ホール**

TEL: 011-728-1222 HP <http://www.danijo.sl-plaza.jp/>

参加費

無料 事前にお申込みください

シンポジウムに関するお問い合わせ先

011-778-0607(命の教育プロジェクト事務局)



命の教育プロジェクトホームページ
<http://www.ido-labo.com/edu4life/>

氏名、所属、連絡先を記入の上、下記に送信ください。

[e-mail] inochi.kyouiku@gmail.com

(事務局:教職大学院院長室)

北海道教育大学教職大学院では、「命の教育プロジェクト」を推進しています。児童生徒・若者の健やかな成長を促すためには、教育がその根幹に命と心を据えることが必至だからです。

今回は2017年のシンポジウムに引き続き開催します。特に、自殺、いじめ、虐待等、喫緊の課題に対して、「SOSの出し方・気づき方」の具体的方法について提案し、議論したいと考えます。



(Mapionより転載)

プログラム

- 挨拶 13時00分～13時05分
蛇穴治夫(北海道教育大学学長)
- 趣旨説明 13時05分～13時20分
井門正美
(北海道教育大学教職大学院教授・院長)
- 実践報告 13時20分～13時50分
「SOSの出し方を学ぼう」
川俣智路(北海道教育大学教職大学院准教授)
梅村武仁(北海道教育大学教職大学院特任教授)
井門正美
- 講演1 13時50分～14時35分
「SOSの気づき方とストレスマネジメント」
安川禎亮(北海道教育大学教職大学院教授)
- 「SOSの出し方・気づき方」質疑応答
14時35分～14時50分

《総司会》小野寺基史(北海道教育大学教職大学院教授)

- シンポジウム 15時00分～16時00分
「学校と教師は、子どもや若者に対する
命の教育にどう取り組めばよいのか」
企画・司会 井門正美
シンポジスト
荒瀬匡宗(北海道教育庁学校教育局参事
<生徒指導・学校安全>主任指導主事)
津田政明(札幌市教育委員会児童生徒担当課
児童生徒担当係長・指導主事)
稲葉浩一(北海道教育大学教職大学院准教授)
川俣智路
安川禎亮
- シンポジウム質疑応答 16時00分～16時15分
- 講演2 16時25分～17時10分
「子ども・若者に対する生きることへの
包括的支援—その最前線—」
本橋豊(自殺総合対策推進センター・センター長)
- 全体質疑応答 17時10分～17時30分

*本シンポジウムは厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学総合研究事業H29-政策-指定-004)「地域の実情に応じた自殺対策推進のための包括的支援モデルの構築と展開方策に関する研究」と北海道教育大学教職大学院による連携事業として開催します。